

平成 30 年度 区政を区長と語る会 実施報告

日 時：平成 31 年 2 月 20 日（水）17 時～18 時 30 分

会 場：災害対策室 A・B（区役所南館 4 階）

テーマ：「いきいきかがやく元気なまち ～光り輝く板橋ブランド・産業活力～」
その実現に向けて

出席者：板橋区次世代経営者会議「I・NEXT」会員 14 名

区長、産業経済部長、産業振興課長、産業戦略担当課長、広聴広報課長（司会）

次 第

- 1 区長あいさつ
- 2 出席者自己紹介、会長あいさつ
- 3 懇談

概 要

【開 会】

司会： 「区政を区長と語る会」にお集まりいただきありがとうございます。

この会は、テーマ別に、各分野でご活躍の皆様と、区長のほか、テーマに関わる区職員と顔を合わせ、区政について語り合おうというものです。

本日は、「いきいきかがやく元気なまち ～光り輝く板橋ブランド・産業活力～」その実現に向けて をテーマに語り合う企画です。

【区長あいさつ】

区長： 日頃から、板橋区次世代経営者会議「I・NEXT」会員の皆様方には、「ものづくりの板橋」の中核を担う企業として、様々な分野でご活躍され、区政にもご理解、ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

板橋区は光学や印刷など産業の盛んな区ではありますけれど、最近の様変わりをしてきました。生産拠点の移転などもあります。一方では、「I・NEXT」のようなネットワークや日本光学会など、ハブ機能ができてきて、集積による効果が期待できるようになってきました。

今日お集まりの皆様が力を合わせることで、「板橋ブランド」が発信できるのかなと思っています。

今後、板橋区の企業がどのような影響力を持ちながら、日本の産業を引っ張って行くのかという観点から、いろいろと皆様のお話を聞きながら、産業施策の実施の参考にしていきたいと考えています。

さて、昨年 12 月にポーランドで COP24（国連気候変動枠組条約第 24 回締約国会議）がありまして、私と横浜市、長野県代表者が出席してまいりました。

私は、環境教育や ESD（持続可能な開発のための教育）、SDGs（持続可

能な開発目標) などについて、話をさせていただく機会を得ました。

これからは、新しいエネルギーや気候変動、人権の問題などを視野に入れながら、産業界においても、地域の環境、地球環境などに貢献できるような取り組みが重要になってきたと思います。

皆様には、若い経営者として「板橋ブランド」を引っ張っていく、たいへん重要な役割があると思っております

ぜひ、今後とも皆様の力をいただきまして、板橋の産業がさらに発展・活発化するよう、今日のご発言くださいますようお願いいたします。

【I・NEXT会長あいさつ】

会長： 本日はこのような区長との懇談の機会をいただき、会を代表して感謝申し上げます。

この会が発足するきっかけは、理研の研究者の研修会に参加した際に、区の職員から働きかけがあり、我々次世代を担う若い経営者たちが集まってネットワークを作り、人のつながりの中から、発展していけたら面白いのではないかとというところからスタートいたしました。その後、これだけのメンバーが集まる会へと成長してきているところです。

この中でいろいろな繋がりができてきておりますが、このあとの懇談の中で皆様からお話をさせていただきたいと思っております。

【出席者自己紹介】

【フリートーク】

○「次世代経営者会議に参加する意義」

・(「I・NEXT」会員)

父の代から区で家業を営んでいるが、同業・同じような世代・立場の方と知り合うことができた。業種も同じなので、展示会や出張先でもお会いすることもある。

実務に近い所では、公社からの補助金をうけ、「I・NEXT」の会の方と共同で事業を進め、成果につなげることもできた。普段、仕事だけの関係だとなかなか進まないことでも、顔見知りになったことで、気軽に相談でき、また、インスピレーション・モチベーションを与えていただき、感謝している。

・(会員)

このメンバーと「I・NEXT」で知り合ったことは財産である。また、区の方とつながることができ、困ったときにでも相談できるのはありがたいし、うれしく思っている。

また、「I・NEXT」の企業からいろいろな紹介をしていただき、受注もさせていただいた。さらに、他の企業とつながり工場見学をさせていただいたり、有益な会だ

と思っている。

・(会員)

この会で仲良くなった方と、互いの工場を見学したことがある。みなさん社長さんで、目のつけどころが鋭く、耳が痛い、気づかされる部分があった。「査察」をやってもらえているような、ありがたい関係である。

また、都の中小企業の人材に関する委員会にも参加させていただいているが、その下部組織の勉強会への紹介依頼があったので、「I・NEXT」の会の方も紹介して参加していただいた。

勉強会では、都の若手就労の施策について、実際の経営者達の実体験を交えた意見交換をしており、非常に面白く、ここ2年位参加している。

(区長)

今おっしゃった人材に関する委員会というのは、どういうことを成果にするのか。

(会員)

中小企業が人材不足を抱えており、どう解決していくか。都が、その要旨について委員会で中間報告をするために、実務者レベルでの勉強会を行っている。

・(会員)

自分の仕事は、設計など会社内で行うことが多く、外に出ることがほとんどない。性格的にあまり外に出るタイプではなく、あまり人と話さない。

その中で、同い年くらいの方々とお話のできる機会があることで視野が広がった。

自分の会社にいると、自分の感覚だけでしか仕事をしないので、ある意味、人のつながりとか勉強できて本当に助かっている。

・(会員)

お互いに利害関係が無い中で、ある意味で好きなことを言い合える関係が良いと思っている。また、自身は様々な会合に参加しているが、この会はフレッシュで、若い方たちのこれから目指していくという勢い、他には変えられない雰囲気がある。

経営者となると、会社内で評価をされる機会はないが、「I・NEXT」を通じて他の経営者からどのように見られているかを勉強する場所としてよいと思っている。

今後、世代交代をしていかなければならない中で、みなさんと悩みなどを共有していける、それを次の世代の経営者に引き継いでいくという、互いに助け合えるサイクルができれば良いと思っている。

・(会員)

なかなか外部の情報が取れないなかで、こういった会で新たな情報が得られる環境ができたことは非常に大きいと感じている。また、区職員から、都の展示会について紹介や助成金の話もいただいた。

経営者はある意味で孤独なところがあるので、この会で視野を広げることができ、ありがたいと思っている。

・(会員)

この会の最大の特徴としては、区とのつながりだということ。オフィシャルということで、信用度や人とのつながりがあり、また、様々な講師をお招きしてお話を伺う機会があるのは収穫だったと思っている。そんな中からお付き合いが始まるケースもあるようですがいかがでしょうか。

・(会員)

講師の理研の先生のところにお邪魔してから2年くらいになりますが、せっかくの機会なので何かお近づきになればと先生の方にアプローチをさせていただき、今では、光格子時計に使われているかなり重要な部品でお手伝いをさせていただき、いまはスカイツリーの上のほうでも実験されているようで、お使いいただけるようになった。

・(会員)

会のメンバーからの紹介により「I・NEXT」に参加をさせていただくことになったが、その当時は他区で70年ほど会社経営をさせていただいていた。

事業所が手狭になり会社移転を検討していた際に、工業地帯・準工業地帯で、都区内、さらにある程度大きな土地をさがしていたが、実態としては、板橋区か品川区しか選択肢がなかった。どちらも同じような条件ではあったが、この「I・NEXT」に参加していることで、情報も入ることや、区の方へご相談できる環境など、サポートを受けられる環境や知っている人がいるということを考え、板橋区に移転を決めた。「I・NEXT」のメンバーや区の方の両サイドの方に相談できる環境があるのは本当にありがたいと思っている。

・(会員)

舟渡の工場ビルで金属精密加工を行っているが、展示会でも都内で精密加工できるところがあるということで評価をいただいている。

「I・NEXT」は、前向きにいろいろなことに挑戦している方々が集まって、また、区役所の方と連携をとりながらいろいろなことを一緒にできることは貴重であり、そういった会に参加できていることはうれしく思っている。

・(会員)

他区にある企業であり、板橋区はこの会に参加するまではほとんど来たことがなかった。自身の会社のある区の異業種交流は、会社の規模で募集している。

板橋区は、区として光学について推しているということを知り、この会のみならず

んは業界でも有名な会社ばかりで、そういう中に参加させてもらうだけで、勉強させていただいている。

・(会員)

自分の会社は印刷なので、みなさんとは違う業種だが、世代の近い方々の経営者と異業種交流ができることは良いと思っている。直接的な仕事は発生しないが、人事や財務などは同じ経営者として悩みの意見交換ができています。区とのつながりもでき、展示会などの紹介や助成金もいただき、大変助かっている。

・(会員)

板橋区は、ものづくりの底力が残っており、頑張れる地域だと実感している。

区長もおっしゃっているが、イノベーションのハブに、板橋区がなってほしいと思っている。そのためには、いろんな地域・フィールドと産業界をつないでいただきたいと思っている。

・(区長)

これから板橋の産業の発展、日本の産業を考えていくのは、地域間の交流、また国外を含めた交流や競争などにより、周りが見えてくると、どこにマーケットがあって、どこに自分たちの強みがあってとういことがだんだんわかってくる。それがわかってくると、勝てるポイントが見えてくる。日頃、チャンスがあればとにかく1回見てみて、自分のものにしてみて、どうするか判断は次の問題と思っている。

私も、海外での経験は自分のフィルターに取り入れ、どこかでそれを使えないかを必ず思っている。ボローニャにしても、今までの美術館という視点だけではなくて、大学や光学の企業さんもあり、例えば建築と光学とかを結び付けていく。トップレベルがくっつくといろいろな人がついてくる。

小さいことでも面白みのあることを考え、真似をするのではなくて、自分で探していくということが大事だと思う。

・(会員)

板橋区に移ってきたが、区と宇都宮大学が提携していることは「I・NEXT」に来るまでは、知らなかった。

移転して以降、開発の案件のなかで、金物の外注先を区に紹介いただいたが、近場の方を紹介いただいたことで、ネットワークがつながり、元々単発で持っていたネットワークが、こちらに来たことでさらにつながり、今までもあったものが来たことで相乗効果で発展したケースが何点もあり、役立たせていただいている。

・(会員)

工場の中に入ったときに、本当に古い印刷機械があった。びっくりした。前のと

ころからもってきただけの理由があるんだろうなと思った。大事にされている。

(会員)

海外の工場や大学の施設を見学させていただく機会もあり、最先端の機器を作っている華々しいきれいな工場もあるが、いわゆる町工場といわれるところが世界レベルの企業と同様のもの作っているところもたくさんある。道具の優劣や資本力の優劣だけではない部分があり勇気づけられる。大資本があり最先端の機器を揃えてお金をかけて作れば最高のものができる、それが世の中で売れていくわけではなく、そういうマシンを持っていても、自身の会社の古い機械で作るよりも悪い精度のものを作っている企業もある。

そう言う意味では、チャンスもある。そのような会社は一社でいろいろな部門がいるのは強みだが、一社ですべてそろえるのは難しいので、各社で補えることができれば強みだと思いますし、異業種の方々とも相談できるメンバーがいるのは力強いと感じている。

・(会員)

他でどの企業もやったことのない仕事が舞い込んできたときに、板橋区の産業見本市で知り合った他業種の方に相談し、普通のビジネスのつながりなら断られてしまうようなことでも、多少無理も聞いてもらい取り組むことができた。

1回ではうまくいかなかったが、次の改良に向けて話し合いも進めている。

近くでも遠い業種とつながって、どこでどうゆう業種とつながるかがわからないという点では、この「I・NEXT」のネットワーク、またそれぞれが別のネットワークを持っていることでさらにつながり、会へ参加して良かったと思っている。

・(区長)

中小企業のみなさんは、決裁をする社長としての立場があり、全ての現場と、自分の判断力ができる場なので、いろんなことを試そうとするときにすぐに判断できるのが強み。大きい会社は、成功しないと思ったらやめてしまう。

私も設計をやってきたが、個人とか小さい会社の方が早い。答えをすぐ出せる。その答えを早く出せるかで、事業は決まる。区政もそういうところがある。みなさんは、そのスピード感で仕事をされているんだろうと感じている。

・(会員)

以前、工場見学に参加させていただいたが、本来であればなかなか難しく、区とのタイアップによって成り立った。工場見学をした企業は、自身の会社と大手さんの競合もあり、細かい所まではなかなか見せられない。そうしたなかで、区が間に入っていただくことで、工場の内部の細かいところまで見ることができ、製造工程・設備・在庫管理など、将来的に導入を検討するようなシステムの勉強をすることができた。

そういう時間をいただいたことは、「I・NEXT」に参加している意義を痛感した。

また、自身の判断で会社や従業員の将来が左右するということもあり、やはり目の色、顔つき、聴く姿勢が違っていると感じている。

また、経営者は孤独だという話も出た中で、会社がいい方向に向いていくために、経営者も従業員も孤立させないということを、この会でみなさんのお話を聞くことで感じる事ができた。

○「若手経営者として日頃感じていること」

・(会員)

事業承継のプレッシャーという点での話ですが、自身が社長を引き継いだ後、12年ほど前に先代が他界してすぐくらいに、会社がもらい火でボヤになった。ちょうどそのときに自身は海外に出張で、時間も遅く帰れなかったので翌日になったが、自身が会社に戻ると社員が不安そうな顔をしていた。そのときに社員に「絶対私についてくれば会社は大丈夫だ。うちの会社はこのくらいじゃ潰れない。」と言ったら、社員の顔が明るくなり、実は、その年が過去最高の売り上げになった。

このような非常に危機的な状況を経験して、自身は、初めて社長としての自覚ができた。先代がいたときには、何か困ったときに会長に聞けるという最後の防波堤がある。それが聞けない状況のなかで、こういった仲間がいることは大変ありがたいという経験をした。みなさんも、先代がお元気なうちに、経営のことなど、色々聞いておいたほうが良いと思う。

・(会員)

自分の会社は会長も元気で、これまでは会長とダブル代表であったが、1年半ほど前から1人で代表となった。改めて自身で判断していかなければならない立場になると、いろいろと悩むが、人の悩みが非常に多い。仕事は、全て人と人とのつながりだと、最近すごく思っている。

そうしたなかで、「I・NEXT」のメンバーには、会社内での悩みを相談できる、話を聞いてもらうことができ、経営者として非常にプレッシャーが多い中、このような会があるのは本当にありがたいと思っている。

司会： 皆様、本日は、たくさんの貴重なお話をいただきありがとうございます。

そろそろ終了の時間が近づいてまいりましたので、最後に、改めて、区長からご挨拶申し上げます。

区長： 皆様、大変お疲れさまでした。

皆様方の普段の気の遣い方、企業としての心がけ、社員の補償、家族のことも含め、本当に様々な努力をしていることがよくわかりました。

さらに、自分の会社だけではなくて、今日のメンバーと一緒に研鑽しながら、「I・NEXT」が更に発展することが、ご自身の家業と社会貢献としての機能の発展となるのではないかと考えています。

ぜひ「I・NEXT」は、皆さんと共に永遠に、区行政と一緒に考えて悩んで、足りないものがあれば、我々も、人材、場所や環境づくりに努力していきたいと思っておりますので、どうぞ遠慮なくおっしゃっていただきますようお願いいたします。

今日は短い時間でしたが、素晴らしいご意見をいただいた会となりました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。